

令和3年3月16日

都高体連剣道専門部 加盟校各位

東京都高等学校体育連盟剣道専門部
部長 野村 公郎

新人剣道大会の開催中止および全国選抜大会代表選出経緯の詳細とお詫び

加盟校の皆様には日頃より専門部の活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、一都三県に発出されている緊急事態宣言のため、高体連主催の大会が実施できず、ひいては上位の大会である全国高等学校剣道選抜大会への代表校の選出にも支障をきたしましたことは誠に残念であり、この間大会の開催を待ち望んでいた各校剣道部の生徒の皆様には大きな不安と失望を与える結果となりましたことを、心よりお詫び申し上げます。

東京都高体連は昨年6月22日に策定したガイドラインの中で、大会等のイベント開催については緊急事態宣言が解除されていることを開催の条件としており、剣道に限らず傘下のすべての競技種目において高体連の主催大会を開催できない状況が続いております。

剣道専門部は当初予定されていた1月17日の新人大会を延期とせざるを得ず、3月20日、21日に開催を決定し、去る2月14日にこれを発表いたしました。しかしその後3月5日に政府による緊急事態の再延長が決定され、高体連の主催による同大会の開催は中止または延期せざるを得なくなりました。

緊急事態の延長の決定を受けて、当専門部は何とか大会を開催する方法はないものか、都教育委員会や都高体連と相談を重ねて参りました。そのひとつとして、高体連以外の団体に大会開催をお願いすることはできないか検討し、東京都剣道連盟に大会の開催をお願いすることが可能かどうかを打診し、協議を重ねて参りました。

しかし、すでに大会予定日まであと9日しかない中で、都立高校等、緊急事態宣言中は部活動が完全に行われていない学校があり、また私立高校の中には高体連主催以外の大会への参加を学校として認めていない学校が存在するなど、公平な条件の下で大会を開催することは不可能であるという判断をせざるを得ず、また、これ以上の延期は年度末であることから困難であり、3月11日に同大会開催の中止を決定いたしました。

同大会は全国高等学校剣道選抜大会の東京都代表選考会を兼ねており、男子二校、女子二校の東京都代表枠をどうするかを剣道専門部常任委員会で議論いたしました。予選会が実施できていないのであるから、今回の選抜大会に東京都代表を出すことは不可能である

という意見や、また未だに緊急事態が解除されていない状況で選手を派遣してよいのかと疑問視する意見もありましたが、このコロナ禍においても同大会への出場を目指し準備を進めてきた学校も存在していること、また他県では予選会が実施できていなくとも選考により代表校を選出していることなどから、与えられた機会は無理のない範囲内で活用すべきであるとの結論に達し、予選会を行うことはできなかつたが代表校を選出することとしました。代表校の選出に当たっては、公平公正かつ透明性の観点から選考方法について議論を重ね、前年度の同大会の成績及び過去の成績を基に代表校選出を協議し、今回は代表校を男女各一校とし、代表校を決定しました。すでに、該当校へは3月12日にお知らせをするとともに、この決定結果を同日加盟校の皆様宛に発表いたしました。

代表校の選手の皆様にはこのような状況の中、東京都代表としてのご活躍を期待するだけでなく、無事に出場され事故等なく試合に参加できることをお祈りいたします。なお、4月以降の関東大会や全国大会への代表選出についても今回のように予選会が実施できなくなった場合に備え、今後、選出に関する方法等課題を早急に洗い出すことの必要性を強く感じるところであります。

何より加盟校の選手の皆様にはこのような状況の中で、稽古や試合が満足にできず、時には気持ちが折れるようなこともあると思いますが、一日も早く緊急事態が解除され、停止中の部活動を再開できるようになり、安心して皆様が元気に試合場で剣を交えることのできる日がくることを願わずにはられません。その時まで、できることで自己研鑽を積み重ねておいてください。

最後になりますが、この間に、選考会開催についてご検討いただき前向きなご判断をいただいた東京都剣道連盟の皆様、会場使用の承諾をいただいた両国高等学校の皆様、また大会の開催に向けて昼夜を問わず奔走された専門部委員の皆様には深く敬意を表し御礼申し上げますとともに、加盟校の皆様には状況報告が遅れたことから不安や心配を抱かせてしまいましたことに、重ね重ねになりますが深くお詫び申し上げ報告とします。

東京都の代表に選出された二校には、試合でのご活躍と安全を祈念いたします。